

## 新入生熱く応援練習

### 深志高の伝統始まる

松本深志高校で10日、伝統の応援練習が始まった。3日間の日程で新入生約320人が応援歌や校歌などを歌う。初日は、5〜8組の生徒が応援団管理委員会(応管)の指導を受け、練習場所の校舎屋上から歌声を響か

せられた。学ランとマントを身につけて高げたを履いた団長を前に、1年生は緊張した表情で背筋を伸ばし、覚えたばかりの応援歌や校歌は生徒

総会や終業式などで歌う。本年度は野球部の声出し応援が可能になったことから、団長の3年・渡邊美穂さん(17)は「試合の応援に向けて応管の人数を増やして勢いをつけたい。1年生の皆にも伝統歌を覚えて気持ちを高めてもらえたら」と期待していた。(田中千絵)

屋上で練習に励む新入生たち

